

J-クレジット制度管理者御中

実績確認概要書

平成 28 年 12 月 22 日

審査機関名 ビューローベリタスジャパン株式会社

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	A 重油ボイラから木質バイオマスボイラーへの更新プロジェクト
プロジェクト番号	KC1117
排出削減事業者名	二戸市
排出削減共同実施事業者名	株式会社F Tカーボン (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	金田一温泉センター ゆうゆうゆーらく (住所：岩手県二戸市金田一字湯田 41)
事業の概要	A 重油ボイラ 1 基を木質バイオマスボイラ 1 基へ更新する。バイオマスへのエネルギー転換によって、CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2012 年度 346CO2/年 2013 年度 362tCO2/年 2014 年度 362tCO2/年 2015 年度 362tCO2/年 2016 年度 362tCO2/年 2017 年度 362tCO2/年 2018 年度 362tCO2/年 2019 年度 362tCO2/年 2020 年度 15tCO2/年 (事業実施期間合計 2,895tCO2)
クレジット 認証期間	開始日 2012 年 4 月 15 日 終了予定日 2020 年 4 月 14 日
排出削減方法論	方法論番号 001 「ボイラーの更新」

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日 ～ 2016年3月31日（第2回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	587tCO ₂ （2013年4月1日～2016年3月31日）
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	<ol style="list-style-type: none">1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 第2回目の実績確認のため、該当なし2) 対象期間中の設備稼働確認 導入した木製バイオマスボイラ設備は実績確認の期間中継続的に稼働していることを、本実績報告対象期間における木製バイオマスの購買実績により確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<ol style="list-style-type: none">1) モニタリング方法の確認 関係者へのヒアリングにより、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、木質バイオマス使用量、木質バイオマスの単位発熱量、A重油の単位発熱量あたりのCO₂排出係数等のモニタリングが実施されていることを確認した。2) 活動量の正確性 木質バイオマスの請求書の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、木質バイオマス使用量の記録・保存が適切になされており、正確に集計されていることを確認した。3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認

	<p>使用されている単位発熱量が、林野庁木質系エネルギー活用調査データ、チップ嵩比重は J-クレジット制度デフォルト値を使用していることを確認した。また、A 重油の排出係数は J-クレジット制度・モニタリング・算定規程(排出削減プロジェクト用)Ver2.5、その他は承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果を根拠資料と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p>
算定期間が移行期間内であること	本実績確認の対象期間は、2013年4月1日から2016年3月31日までであり、排出削減量を算定した期間が2020年4月14日を超えないことを確認した。

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）

以下の変更は事務局に提出されており、排出削減実績報告書に反映され、削減量は適切に算定されていることを確認した。

- ①木質バイオマス使用量のモニタリング方法の単位を、重量から容積に変更し、その容積を重量に換算する。換算に用いるチップの容積密度は J-クレジット制度のデフォルト値（針葉樹チップ 0.1t/m³）を使用する。
- ②木質バイオマスの含水率について、J-クレジット制度の容積密度のデフォルト値を使用することに伴い、モニタリングを行わないこととする。

6. 特記事項

- ①排出削減量に相当する再生可能エネルギー量は、熱量換算 8,672GJ であることを確認した。
- ②前回年間実績：264tCO₂/年、今回年間実績：196tCO₂/年。前回実績比-25%である。
これは、かさ比重の数値を、0.13t/m³ からデフォルト値の 0.10 t/m³ に変更したためである。

以上